

令和３年度 第１回羽島市立竹鼻中学校運営協議会 議事録

1	日時	令和３年６月２５日（金） 午後１時３０分～３時３０分
2	場所	羽島市立竹鼻中学校 会議室 （北舎１階）
3	出席者	１５名 小森 博昭（竹鼻町自治会長） 田中安志郎（福寿コミュニティセンター館長） 高木 和秋（竹鼻南コミュニティセンター館長） 中畑 弘（竹鼻コミュニティセンター協議会長） 松下 友幸（地域コーディネーター竹鼻町 羽島市文化センター顧問） 小林 美雪（地域コーディネーター福寿町 元西部幼稚園園長） 小笠原秀芳（福寿町民生児童委員会会長） 馬場まさ子（竹鼻町主任児童委員） 大野 一明（竹鼻町青少年育成推進員） 後藤周太郎（羽島高等学校長） 水谷 宏明（竹鼻中ＰＴＡ会長） 増田 恭司（羽島市教育委員会支援センター） 森山 健（本校 校長） 杉山 正高（本校 教頭） 三品 貴司（本校 主幹教諭）
4	議事	１．学校長挨拶 ２．自己紹介 ３．委嘱式及び会長、副会長選出 ４．新会長、副会長挨拶 ５．授業参観 ６．学校経営の方針と重点について ７．意見交流 ・授業参観での様子は、落ち着いており規範意識の高まりを感じた。 ・安全面に配慮した環境から安心感を感じた。また、整理整頓など美しい環境から道徳性と高まりを感じた。 ・若い先生も増え、子どもたちに元気と勢いを与えてほしい。 ・はしまなごみスポーツクラブとの連携により、今年度からクラブ化が始まった。地域との交流がさらに深まり地域社会人として地域に貢献できる若者を育てていきたい。 ・落ち着いてはいるが、「いじめ」は表面化しづらい点がある。そこで、教師と生徒が力を合わせていじめ解決に向かってほしい。 →ひだまり宣言やいじめアンケートによって早く変化を掴み、指導をしている。 今年度は、自宅に持ち帰ってアンケートを書かせている。 ・家庭での教育力が低下しているため、学校だけではなく、地域の関係機関が協力して、家庭を支えられる竹鼻地区にしたい。 ・GOGA スクール構想の中、ipad が導入されているがそのことによって弊害はないか？筆圧が弱い、漢字が書けないにならないか。 →ハイブリッド型の授業で、試行判断を鍛える時間、創作活動 ・いじめ等、SNS の使い方については今後も学校や家庭で指導をお願いしたい。 ・個別の対応が必要な子どもが増えてきた。地域には羽島特別支援学校もあるので、連携をお願いしたい。
5	連絡等	○次回 第２回竹鼻中学校学校運営協議会 １１月２６日（金）

6	決定事項	会長 松下 友幸 副会長 小林 美雪
7	教育委員会指導	・多くの立場の方から竹鼻中学校の現状と期待についてご意見をいただいた。このことによって、今後何を大切にしていけばよいか具体的になった。 ・地域の方々の力によって、令和3年度から竹鼻中学校のクラブ化が本格的に立ち上がったことに喜びと感謝を申し上げる。 ・竹鼻地区には多くの卒業生が残っており、学校や地域の活動をしっかりと支えていただいている。そのことから現在の落ち着いたある竹鼻中学校がある。 ・竹鼻学園として、小中一貫教育に期待をしている。昨年度は、生徒会や教師主導によって進めてきた。今後は子どもが中心となって、竹鼻学園が目指す姿や思いを具体的に発信できるように取り組んでほしい。